

呉市地域公共交通計画との整合

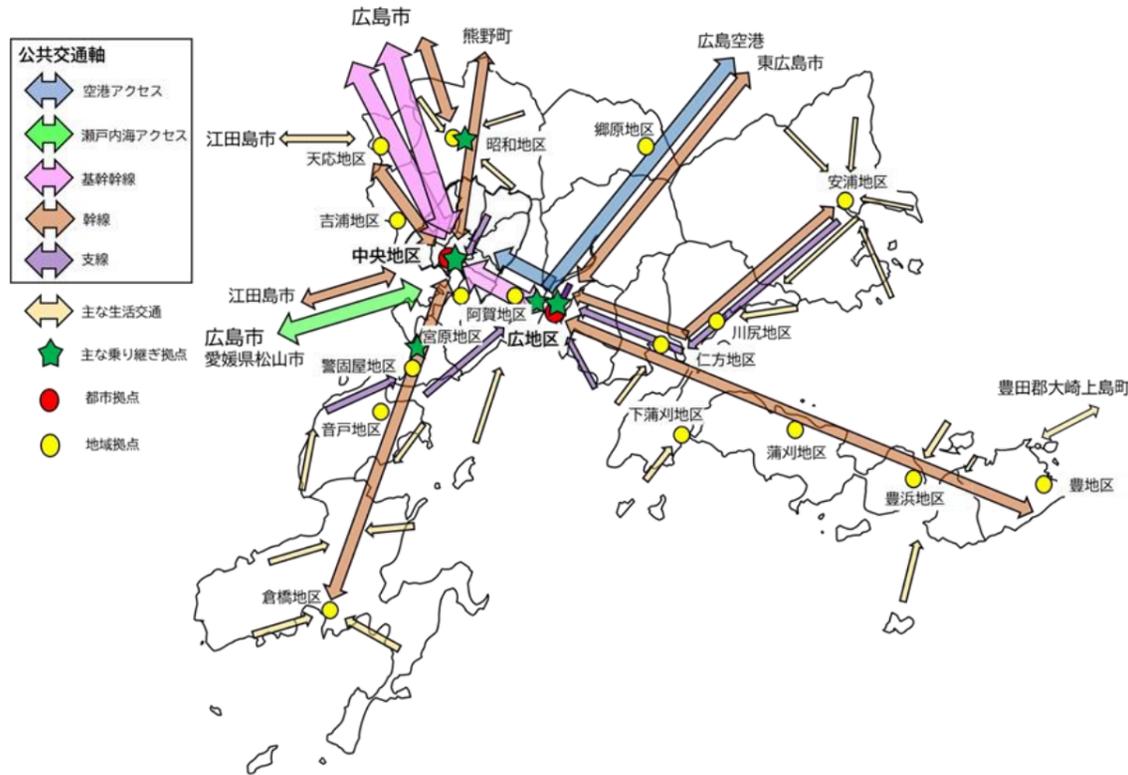
現在、本計画と同時策定中である「呉市地域公共交通計画」との整合を図りました。

第3章 立地の適正化に関する基本的な方針 【4 公共交通に関する基本方針】 P 55

公共交通に関する考え方

第5次呉市長期総合計画に掲げている「公共交通体系の再編を進め、持続可能な公共交通ネットワークを形成するとともに、自動運転やMaaSなどのスマートモビリティの取組を、国道、鉄道駅、港といった複数の交通モードが集積した呉駅周辺地域から市内全域に拡大」していくことを実現するため、「人の暮らし」を中心とした、地域全体で支える交通体系の実現を目指し、人の移動に着目した視点への転換や地域住民等の交通事業者以外の分野との「共創」により、地域主導型交通等の多様な輸送資源の活用も視野に入れ、市内の各地区それぞれの実情に応じた、持続可能で多様な「おでかけ」が可能となる地域の交通の検討を進めます。

地域の交通と乗り継ぎ拠点の全体像



第6章 計画の推進 【1 取組目標】 P 186

目標			
快適に多様な「おでかけ」ができる環境の確保			
評価指標	計画策定時(基準年)	現状値(改定年)	目標値(目標年)
地域の交通による市民一人当たりの移動回数	【JR呉線(呉市内の駅のみ)】 39.1回/年・人 (令和5年度)	—	おおよそ 42.2回/年・人 (令和11年度)
	【空港線, バス, 乗合タクシー, 航路等】 33.6回/年・人 (令和5年度)	—	おおよそ 36.4回/年・人 (令和11年度)

第4章 誘導施設及び誘導区域等の設定 【3 誘導施策の設定】 P 103

まちづくりの方針5

まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成による、つながりの強いまちづくり

- 日常の移動需要(通学・通勤・通院・買い物)を満たす交通サービスを確保します。
- 近隣の都市(広島市など)との接続性を確保します。
- 中核市として、まちの魅力向上を図るため、コンパクト+ネットワークに資する、快適に多様なおでかけが可能となる環境を確保します。
- 自家用車から公共交通や地域主導型交通等による移動への転換を図り、脱炭素社会の実現に貢献します。
- 自動車運転免許が無くても安心して暮らせる、魅力的な地域の交通の安定的な供給を図ります。
- 財政的に持続可能な交通体系を構築します。

居住や誘導施設の立地の誘導と一体的に取り組む交通施策

【継続施策】

種別	誘導施策	施策の概要
交通	公共交通軸の強化	空港アクセス・瀬戸内海アクセス・基幹幹線の改善
	乗り継ぎ・待合環境の向上	乗り継ぎ拠点の整備, 待合環境の改善, 呉駅周辺地域総合開発の推進
	車両や施設のバリアフリー化の推進	JR 駅のバリアフリー化等の推進, ノンステップバス車両への計画的な更新
	分かりやすい情報の提供	路線番号・バス停名称等の見直し, デジタルサイネージやGTFS等による情報発信の拡充
	安全性の向上・公的負担額の削減に向けた経営努力	幹線及び支線の見直し, 呉市生活バス及び航路の見直し
	災害時の交通機能確保	災害に強い交通ネットワーク・機能の確保, 呉駅周辺地域総合開発の推進(再掲)
	DX・GXによる持続可能な交通に向けた取組	次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験の実施, 交通の脱炭素化
	自転車環境整備	自転車通行空間の整備
	ウォーカブルなまちづくりの推進	居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成

【新たに検討が必要な施策】

種別	誘導施策	施策の概要
交通	★公共交通軸の強化	幹線・支線の改善
	★地域の実情に応じた生活交通の展開	地域主導による移動手段の全市的な展開, 補助制度の見直し
	★使いやすい運賃体系の構築	便利で使いやすい運賃制度の導入
	★安全性の向上・公的負担額の削減に向けた経営努力	「交通戦略会議(仮称)」の設置, 運賃収入以外の収入源の確保に向けた取組
	★地域の交通の利用促進	便利で使いやすい運賃制度の導入(再掲), モビリティ・マネジメントの実施
	★運転手・船員の確保・育成	合同就職説明会の開催, 学生等を対象とした会社見学・職業体験の実施, 運転手合同研修・訓練の実施, 二種免許等取得費用の助成
	★交通マネジメント体制の整理	「交通戦略会議(仮称)」の設置(再掲)
	★地域の交通を支える住民意識の醸成	地域主導による移動手段の全市的な展開(再掲), モビリティ・マネジメントの実施(再掲)
	★DX・GXによる持続可能な交通に向けた取組	呉駅交通ターミナルを起点とした次世代交通ネットワークの形成